

「感謝、感謝、感謝！」



努力の跡、明らかに！

昨年12月、佐賀県学習状況調査が実施され、その結果が学校に公表されました。対象は、4年生以上の児童で、調査教科は、4～5年生は、国語、算数。6年生は、国語、算数、理科、社会です。その概要についてお知らせします。

- ◎全学年、全教科、県平均を上回っている
- ◎特に算数科の成績が良好であった
- ◎6年生は、特に高い数値を示した

以上概要ですが、どの学年も大健闘しており努力の跡が明らかになる結果となりました。

昨年度、次のようなことを学校だよりに書いていましたので、改めて紹介します。“本校は、上学年になればなるほど伸びていく！”そう信じていますと。またもや子供たちがそのことを証明してくれて、この上ない喜びを感じています。勿論、家庭学習の充実にお力添えをいただいた保護者の皆様、そこに関わった教職員の努力があったからこそと感謝しています。

さて、この調査の目的は、学習の定着状況を確認するとともに、次の一手を見付け出すためのもの。この結果に満足することなく、学力の更なる定着、向上に努めて参ります。家庭でのお声かけ、これまで同様をお願いいたします。また、全学年で次のことを実践して参ります。

- ☆安心して学び合える学級集団づくり
- ☆知的好奇心に働きかける、魅力ある授業づくり
- ☆“やればできる”“やってやろう”という自主・自発のムードの醸成

最後に、学力の向上には、低学年からの“宿題”への丁寧な取り組み、中学年以降の“自学”の推奨などが必要であると考えます。目標を定め、粘り強く学ぶ！道を拓いていくのは自分自身！このことを粘り強く諭していくことが我々大人の仕事でしょうか！これからも、共に努力して参りましょう(\*^o^\*)。

☆6年生の成長に感激！

1月末、6年生の教室を覗いてみたら、足がぴたりと止まりました。学習内容に興味津々。その内容とは、お気に入りの“座右の銘”について、選んだ理由等をまとめていくもの。それぞれの選択に個性が溢れ、何だか心が熱くなりました。子供たちは、一体どんな座右の銘に惹かれたのか。一部ですが紹介しましょう。

- ☆時間は飛び去り二度と戻らない
- ☆きみはきみだ
- ☆念じ続ければ必ず結果が出る
- ☆成功とは、熱意を失うことなく失敗から失敗へ進むことだ

座右の銘は、ある意味本人の経験からにじみ出る“志”に近いものがありはしないかと思えます。そういう意味で、この学び、いつまでも大事にして欲しいものだと思っています。

運命に導かれて！

あるTV番組で衝撃的かつ感動的な内容に遭遇しました。あまりにもすてきな話でしたので、お裾分けしたいと思います。

主人公は、バンクーバー生まれ。海岸に流れ着いた下駄を父に見せたら、“これは、単なる運じゃなく、日本から呼ばれているんだよ”と(奇蹟①)。また、そのことを、小学校の先生に話したら、先生は、戦国時代の三英傑(信長、秀吉、家康)の話をして下さったそうです。(奇蹟②)主人公はその時から“尾張に行きたい”という夢をもったのだそうです。

学生時代、夢叶い、尾張に旅を。しかし、宿がなく困り果て、ある民家に助けを求めたところ、老夫婦が“良かったら、泊まって行きなさい”と(奇蹟③)。時は経ち、それから数年後。そのお宅を訪れ、主人公は、その折のお礼を伝えると同時に、“なぜ見ず知らずの、しかも外国人を泊めたのか”と尋ねました。その老夫婦曰く、“目を見ていい人と分かったから”だと。その後、主人公は、日本に永住し、自然豊かな土地で暮らしているのだそうです(奇蹟④)。

奇蹟的な出会いと、主人公の人生を導いた、お父さんや小学校の先生、老夫婦の関わり。人生って、本当に不思議なものですね！私たちも、出会いをもっと大切に、丁寧に生きていかねばなりませんね。一期一会を心に(\*^o^\*)。

